

令和5年3月24日

庄川中学校 令和4年度 修了式 式辞

卒業式。

2年生のみなさんは、一年後、1年生のみなさんは、二年後の姿です。

3年生が卒業し、体育館が広く感じられます。先日行われた卒業式では、この体育館という空間の中で、庄川中学校の卒業式をつくりあげようと、心をひとつにしたという実感がありました。在校生の思いを卒業生に届けることができたのではないのでしょうか。

「思いを形に」 ～あきらめず挑戦し、
「なりたい自分」に向かう～

今年度の始めに掲げた重点目標です。

みなさんは、一年前に描いていた「なりたい自分」の姿を覚えていますか？しかし、一年間、ひとつのゴールに向かって走るのはとてもたいへんです。途中、ゴールを見失うこともあります。ゴールへの道のりもまっすぐな最短距離だとは限りません。たくさんの誘惑もあります。だからこそ、ゴールに向かうまでの、細かく、小さい目標をひとつひとつクリアしていくことが、有効なのかもしれません。

みなさんと同じように、私の一年も過ぎようとしています。この一年、庄川中学校を訪れた方が、感心されたことがあります。それは、「挨拶」です。

挨拶。それは、人と人をつなぐ大事な行動です。しかし、私はこの一年で、それだけではない挨拶の大切さをみなさんに教えてもらいました。

今日も、自転車小屋から正面玄関まで響く挨拶の声。しかし、響くのは、声が大きいかからではありません。相手をしっかりと意識して挨拶をしているので、その声は相手の心にまで響くのです。

また先日、卒業式に参列された来賓の方が、「学校の中だけじゃなく、道で会っても挨拶してくれる庄川中の生徒は、どこへ行っても自慢やわ。」と、副市長さんに話しておられるのを聞いて、庄中生の挨拶は、本物だと感じました。

私はこの一年、あたたかさを土台とする「思いを形にできる学校」を目指してきました。あたたかさは、目に見えるものではありません。しかし、心に響く挨拶を交わすことで、あたたかい場所を作ることができるのだと、皆さんに教えてもらいました。

もうすぐ、次の一年が始まります。一年後、どんな自分になっていますか？遠回りでもいい、見付からなければ、歩きながら探せばいい。小さな階段を一段ずつ登り、なりたい自分にぜひ出会ってください。

今、よりよく変わりたいと思っているあなた。自分の中にあるその思いを否定しないでください。その思いが本物であれば、「あんなふうになりたいけど無理！」とあきらめず、挑戦してください。そして、そんな仲間がそばにいたら、みなさんのあたたかさで、応援してあげてください。

最後に、先生方、一年間、陰に日向に、生徒を導いてくださり、ありがとうございました。そして、1、2年生の皆さん。心に響く挨拶と笑顔で、学校をあたたかい場所に、そして、元気の出る場所にしてくれてありがとう。

以上を令和4年度修了式式辞といたします。

令和5年3月24日

砺波市立庄川中学校

校長 近藤 美恵子